

教育支援および学生支援における満足度調査報告
——2017・2018年度「卒業時アンケート調査」集計結果——

1. 調査の目的

本調査は、ノートルダム清心女子大学における学修支援および生活支援の充実を図るための基礎データを収集することを目的として、2017年度から実施しているものである。卒業を間近に控えた4年生に、大学生活全般および本学の教育内容・支援体制等について満足度を尋ねることにより、学生にとってどの点が充実していると感じられており、また、どの点が不十分であるかを明らかにすることが本調査の目的である。

2. 調査の概要

本学では3月を、4年生が大学で過ごした4年間を振り返る時期と位置づけており、4年生が卒業への準備を始める日として、毎年3月3日に「ノートルダムデー」を実施している。ノートルダムデーは本学の伝統的な行事の一つであり、4年生全員の出席を義務づけていること、また、学生一人ひとりに4年間を振り返ってもらうことを趣旨とした行事であることから、本調査はノートルダムデーに出席した4年生に、本学の教育内容や支援体制等を評価してもらうという形で実施している。

ノートルダムデーの時間中に、担当教員が調査の趣旨説明と協力依頼をおこなった後、出席者全員にアンケート用紙を配布し、その場で無記名で回答してもらい、ノートルダムデー終了後に会場の出口で職員が回収する方法を取っている。回答時間は約10分である。なお、本調査とは別に、ノートルダムデーの出席者には従来から「ノートルダム清心女子大学を卒業するにあたって」という自由記述式の感想文を二枚複写式の「振り返りシート」に書いてもらっており、そのうちの一枚を回収している。本報告では、この振り返りシートに記述された内容も補助的なデータとして使用する。

3. 調査主体

本調査の実施部署は、学務部学生係である。

4. 調査対象

ノートルダムデーに出席した4年生全員を対象としている。

5. 調査時期

毎年、ノートルダムデーの実施日である3月3日に、本調査を実施している。なお、2017年度および2018年度の実施日は下記の通りである。

2017年度：2018年3月3日（土）

2018年度：2019年3月4日（月）

6. 調査方法

無記名式のアンケート用紙を参加者全員に配布・回収する集合調査の方法で実施した。

7. 調査内容

アンケートは、最初に所属学科、本学志望度を尋ねた後、「大学生活を振り返っての本学での満足度」「キリスト教的価値観を学んだこと」「教育内容やカリキュラム」「大学の施設・設備」「経済的な支援」「進路支援の体制」「本学の教員」「本学の職員」の8項目について、4年間を振り返っての満足度を回答してもらう構成になっている。満足度は、「とても満足」「まあ満足」「やや不満」「とても不満」から1つを選択する4件法による回答である。

8. 回収結果

両年度とも、ノートルダムデーの全出席者からアンケート用紙および感想文を回収した。2017年度および2018年度の回収数はそれぞれ、319名、360名である（有効回収率：100%）。

しかし、前述したようにノートルダムデーへの参加は4年生に義務づけられているが、食品栄養学科の学生は管理栄養士国家試験が控えていること、また、その他の学科の学生も就職内定先の企業が実施する入社前研修に参加するなどの影響で、近年は出席率が低下している現状がある。出席率に関する過去のデータはないが、教職員からは、ノートルダムデーの参加者が近年減少しているとの指摘もある。

表1に示したのは、各年度の学科別回収数および在籍者数に占める回答率である。学科によって回答率にばらつきがあるが、全体の出席率は、2017年度が57.0%、2018年度が63.9%であり、6割程度の回答率にとどまっている。

表1 2017年度・2018年度の学科別回収数および在籍者数に占める回答率

2017年度

	英語英文 学科	日本語日 本文学科	現代社会 学科	人間生活 学科	児童学科	食品栄養 学科	全体
出席者数（回収数）	56	62	39	51	95	16	319
在籍者数	103	83	67	82	140	85	560
出席率（回答率）	54.4%	74.7%	58.2%	62.2%	67.9%	18.8%	57.0%

2018年度

	英語英文 学科	日本語日 本文学科	現代社会 学科	人間生活 学科	児童学科	食品栄養 学科	全体
出席者数（回収数）	53	49	50	58	119	31	360
在籍者数	82	79	75	91	148	88	563
出席率（回答率）	64.6%	62.0%	66.7%	63.7%	80.4%	35.2%	63.9%

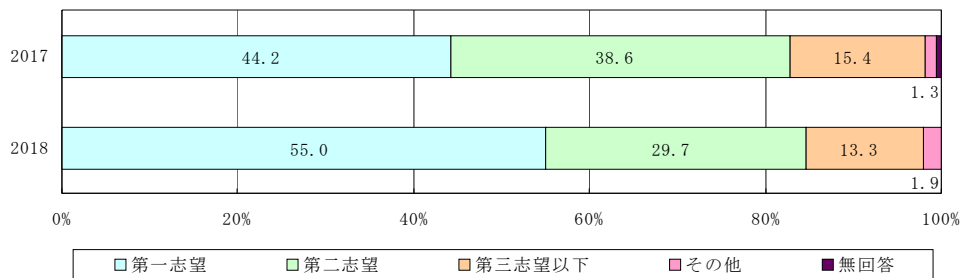
（在籍者数は各年度3月1日現在）

9. 単純集計結果

(1) 本学入学時の志望度

図1は、入学時に本学の志望順位が何番目であったかの回答を年度別に示したものである。両年度とも8割以上の学生が第二志望以内で入学しており、2018年度卒業予定者は半数以上が第一志望であった。この入学時の志望度が、4年間の大学生活を経たのちの学生の満足度と関連するの点については、第11節で検討する。

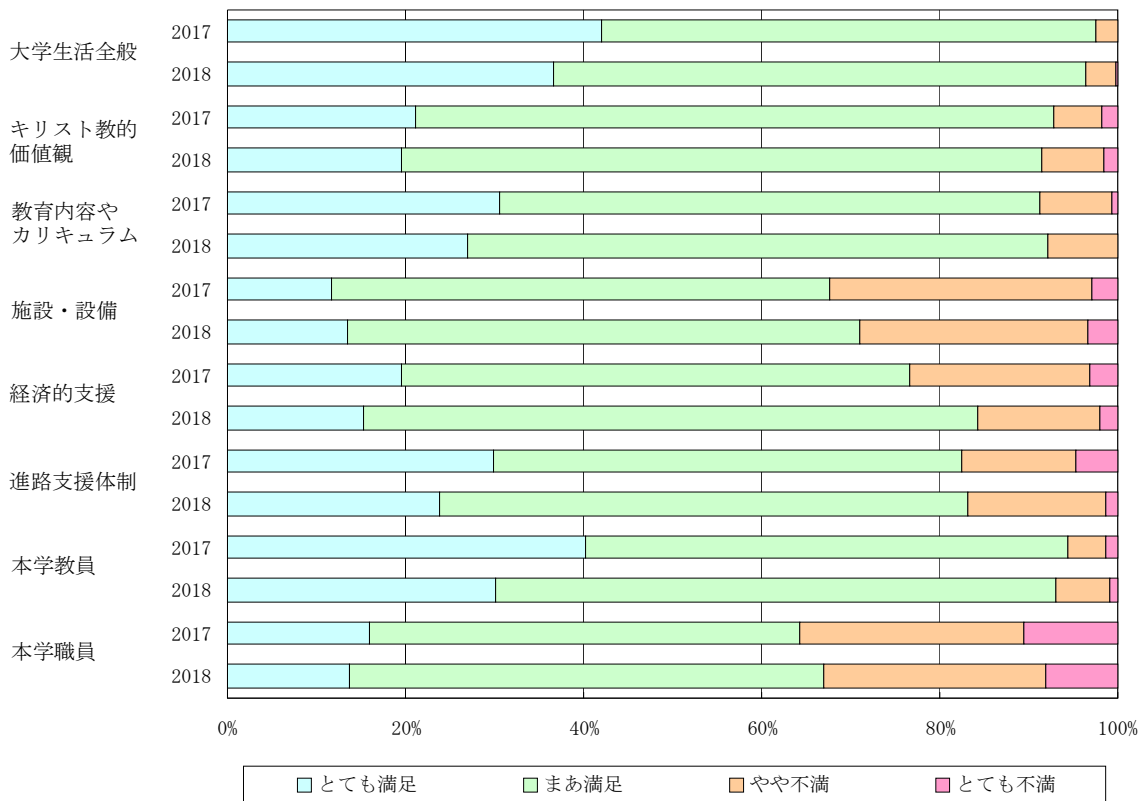
図1 本学入学時の志望度



(2) 各項目の満足度

8つの項目に対する満足度の回答結果は図2のようになった。卒業を控えた時期の調査であることから、満足度は総じて高くなることを想定していたが、2017・2018年度とも全体的に学生の満足度は高いといえる。

図2 年度別8項目の満足度



なお表 2 は、8 項目の相関行列を年度別に示したものである。両年度とも、すべての項目が相互に有意に相関していることがわかる。すなわち、ある項目の満足度が高い者は、別の項目の満足度も高い傾向があるということである。大学生活全般の満足度と大きく関連しているのは教育内容や教員に対する満足度であり、本学が学生にとって満足できる教育をいかに提供できるかという点が、大学生生活の満足度を高めることにつながるといえるであろう。

表 2 満足度 8 項目の相関行列

2017 年度

	大学生生活	キリスト教	教育内容	施設設備	経済支援	進路支援	教員	職員
大学生生活全般	—	.419**	.486**	.338**	.299**	.422**	.424**	.313**
キリスト教的価値観	.419**	—	.473**	.418**	.542**	.393**	.235**	.368**
教育内容やカリキュラム	.486**	.473**	—	.452**	.424**	.491**	.482**	.429**
施設・設備	.338**	.418**	.452**	—	.504**	.456**	.280**	.521**
経済的支援	.299**	.542**	.424**	.504**	—	.491**	.319**	.501**
進路支援体制	.422**	.393**	.491**	.456**	.491**	—	.434**	.486**
本学教員	.424**	.235**	.482**	.280**	.319**	.434**	—	.435**
本学職員	.313**	.368**	.429**	.521**	.501**	.486**	.435**	—

* p<0.05 ** p<0.01

2018 年度

	大学生生活	キリスト教	教育内容	施設設備	経済支援	進路支援	教員	職員
大学生生活全般	—	.375**	.573**	.350**	.381**	.350**	.515**	.364**
キリスト教的価値観	.375**	—	.506**	.384**	.297**	.331**	.324**	.382**
教育内容やカリキュラム	.573**	.506**	—	.473**	.415**	.419**	.507**	.432**
施設・設備	.350**	.384**	.473**	—	.492**	.332**	.375**	.411**
経済的支援	.381**	.297**	.415**	.492**	—	.309**	.301**	.354**
進路支援体制	.350**	.331**	.419**	.332**	.309**	—	.460**	.405**
本学教員	.515**	.324**	.507**	.375**	.301**	.460**	—	.393**
本学職員	.364**	.382**	.432**	.411**	.354**	.405**	.393**	—

* p<0.05 ** p<0.01

項目別にみていくと、「大学生生活全般」「キリスト教的価値観」「教育内容・カリキュラム」「教員」については、「とても満足」「まあ満足」の回答を合わせた比率は 90%を超えており、本学の教育に対して学生たちが満足を感じていることがわかる。自由記述式の「振り返りシート」においても、「キリスト教」「キリスト教的価値観」という言葉を肯定的にとらえる記述や、ノートルダムデー当日の理事長や学長の講話からの引用が多くみられた。これらのことから、本学の教育理念に沿った教育全般について、学生たちはおおむね満足しているといえるであろう。

また「進路支援体制」についても、「とても満足」「まあ満足」を合わせた比率は 80%を超え、学生の満足度は高い。この支援の手厚さが、本学が高い就職率を維持・継続できている要因となっている。

「経済的支援」の満足度は、2017 年度の 76.1%から 2018 年度の 82.8%へと 6.7 ポイント上昇している。本学は他大学と比較して奨学金制度が充実しているとはいえないが、授業料が 56 万円

と他大学より低く設定されていることが一定の満足感を生み出しているのであろう。さらに、2018年7月に発生した東日本豪雨災害に対して本学がいち早く支援の方針を打ち出したことが、経済支援に対する直接的・間接的な印象として、満足度の上昇につながったと推測される。

全8項目の中で相対的に満足度が低いのは、「施設・設備」および「本学職員」である。「施設・設備」に対しては約7割の学生が満足感を示しており、これは決して低い数値ではない。本学のノートルダムホールおよびノートルダム東棟は、国の登録有形文化財に指定されている歴史的建造物であり、その他の建物も築20年を超えているものが多い。このような伝統や格式を感じられる、いわゆる「清心らしい」環境で過ごす学生生活に、学生はある程度満足しているといえる。ヨゼフホールやテレジア館など、近年になって新しい建物が完成したことも、学生たちに満足をもたらしたであろう。しかし一方で、アンケート用紙の余白に、あえて不満の意を表明する記述もみられた。昼食をとるスペースが少ないこと、エアコンやトイレ等の設備に言及したものや、図書館西側でパソコンが使えない(Wi-Fi環境)などである。このような施設の快適性や利便性の部分に関する環境整備が充分とはいえないことが、他の項目と比較して満足度がやや低い要因になっていると考えられる。

「本学職員」については、2017年度が64.3%、2018年度が66.9%であり、8項目の中で満足度が最も低い。ただし、この結果は本学職員全体に対する評価であるとは一概にはいえない。実際に、アンケート用紙の余白に書き込まれたコメントからは、キャリアサポートセンター職員に対する満足度が高く、学生係職員に対する満足度が低い状況が読み取れた。しかしながら、それぞれの部署で対応する業務には違いがあり、職員としての学生への支援方法は部署によって大きく異なる。各職員・教員ともに、学生のニーズや考えを的確に把握・理解したうえで対応し、そのことが、結果として満足度の高まりにつながる努力をしなければならない。これは学生をお客様のように扱うという意味ではない。「学生の成長を促すための支援」という視点に立ちながら、時には厳しく対応することもまた必要なのではないかと思われる。

10. 学科別にみた満足度

本学の学部構成は2学部6学科に分かれており、共通の教育理念に基づきながらも、学生たちの大学生活の過ごし方や将来に向けた目標設定は学科によってずいぶん異なる。本節では、満足度の傾向に学科の違いがみられるのかどうかについて検討する¹⁾。

次の表3は、「とても満足」から「とても不満」までの4件法による回答を4点～1点に得点化し、8項目それぞれについて学科別に平均値を算出した結果を示したものである。ほとんどの項目で全体平均が3点台となっており、本学学生の満足度が高いことは図2でも確認した通りである。その中で学科による差がみられるのは、「大学生活全般」「教育内容やカリキュラム」「施設・設備」「進路支援体制」「本学教員」の満足度である。また、総じて児童学科学生の満足度は高いといえる。

¹⁾ ただし、両年度とも児童学科の回答が全体の約3割を占め、食品栄養学科の回答が10%未満(5.0%, 8.6%)であることには留意しなければならない。今回の集計結果は、児童学科の回答傾向の影響を受けていると考える必要がある。

表3 学科別にみた8項目の満足度平均点

2017年度

	英語 英文学科	日本語 日本文学科	現代社会 学科	人間生活 学科	児童学科	食品栄養 学科	全体平均	有意 確率
大学生生活全般	3.36 (56)	3.19 (62)	3.38 (39)	3.35 (51)	3.60 (95)	3.25 (16)	3.39 (319)	.000
キリスト教的価値観	3.07 (56)	3.00 (61)	3.15 (39)	3.25 (51)	3.13 (94)	3.19 (16)	3.12 (317)	.279
教育内容やカリキュラム	3.02 (56)	2.98 (62)	3.31 (39)	3.25 (51)	3.41 (94)	3.19 (16)	3.21 (318)	.000
施設・設備	2.82 (56)	2.44 (62)	2.95 (39)	2.73 (51)	2.92 (95)	2.63 (16)	2.76 (319)	.000
経済的支援	2.80 (56)	2.74 (61)	3.03 (39)	3.02 (51)	3.03 (94)	3.00 (16)	2.93 (317)	.088
進路支援体制	3.05 (56)	2.71 (62)	2.79 (39)	3.16 (51)	3.43 (95)	2.88 (16)	3.08 (319)	.000
本学教員	3.18 (56)	3.24 (62)	3.36 (39)	3.24 (51)	3.53 (95)	3.31 (16)	3.33 (319)	.008
本学職員	2.43 (56)	2.21 (62)	2.87 (39)	2.84 (51)	2.96 (95)	3.06 (16)	2.70 (319)	.000

2018年度

	英語 英文学	日本語 日本文学	現代社会	人間生活	児童	食品栄養	全体平均	有意 確率
大学生生活全般	3.28 (53)	3.22 (49)	3.32 (50)	3.41 (58)	3.43 (119)	3.03 (31)	3.33 (360)	.005
キリスト教的価値観	3.02 (53)	3.16 (49)	3.02 (49)	3.17 (58)	3.12 (119)	2.97 (31)	3.09 (359)	.382
教育内容やカリキュラム	3.08 (53)	3.08 (49)	3.14 (50)	3.26 (58)	3.34 (118)	2.97 (31)	3.19 (359)	.002
施設・設備	2.65 (52)	2.76 (49)	2.68 (50)	3.02 (58)	2.90 (119)	2.63 (30)	2.81 (358)	.018
経済的支援	2.79 (52)	2.94 (48)	2.96 (48)	3.07 (58)	3.03 (117)	3.00 (31)	2.97 (354)	.196
進路支援体制	2.89 (53)	3.04 (49)	2.96 (50)	3.02 (58)	3.29 (119)	2.71 (31)	3.06 (360)	.000
本学教員	3.13 (52)	3.02 (49)	3.24 (50)	3.16 (58)	3.39 (119)	3.16 (31)	3.22 (359)	.004
本学職員	2.55 (53)	2.65 (49)	2.68 (50)	2.71 (58)	2.86 (119)	2.74 (31)	2.73 (360)	.259

註) 表中の数値は学科別満足度の平均値を示す。8項目の満足度の回答を「とても満足」に4点、「とても不満」に1点を与えて1~4点に得点化しており、数値が高いほど満足している回答が多いことを示す。()内の数値は度数。

「施設・設備」の満足度が低いのは、食品栄養学科および2017年度の日本語日本文学科、2018年度の英語英文学科・現代社会学科である。授業や研究で多くの施設や設備を必要とする食品栄養学科学生と文学部各学科学生とでは、本学の施設・設備面に感じる不十分さの内容は異なっているのかもしれない。この点については、今後より詳細な調査によって明らかにする必要がある。

「進路支援体制」についても、免許・資格の取得を特色とする2学科で評価が分かれている。児童学科の満足度は高く、食品栄養学科の満足度は低い。児童学科については、就職に関連する部署として「教職支援センター」が設置されており、教職と一般就職の両面における対応窓口があることが、支援体制の厚みとして満足度を高める要因となっていることが考えられる。食品栄養学科で管理栄養士をめざす学生にとっての支援と他の進路を選択した学生にとっての支援、また、学生が学科に期待する支援とキャリアサポートセンターに期待する支援とでは、当然ながらその内容は大きく異なってくるはずである。このアンケートで指摘された不十分さが何を指しているのかという点についても、今後の検討が必要であろう。

1.1. 志望度による満足度の比較

入学時の志望度は、本学で4年間を過ごすことによって、満足度にどのような影響を与えているのだろうか。一般に入学時に志望度が高いほど満足度は高く、志望順位が低かった学生の満足度は低いことが考えられる。表4は、8項目の満足度の平均を志望度別に比較したものである。

表 4 志望度別にみた 8 項目の満足度平均点

2017 年度

	第一志望	第二志望	第三志望以下	全体平均	有意確率
大学生活全般	3.40 (141)	3.41 (123)	3.39 (49)	3.40 (313)	.977
キリスト教的価値観	3.23 (141)	3.11 (123)	2.87 (47)	3.13 (311)	.001
教育内容やカリキュラム	3.29 (140)	3.21 (123)	3.00 (49)	3.21 (312)	.018
施設・設備	2.84 (141)	2.76 (123)	2.55 (49)	2.77 (313)	.037
経済的支援	3.01 (141)	2.92 (122)	2.77 (48)	2.94 (311)	.137
進路支援体制	3.12 (141)	3.17 (123)	2.78 (49)	3.09 (313)	.009
本学教員	3.35 (141)	3.34 (123)	3.29 (49)	3.34 (313)	.799
本学職員	2.81 (141)	2.68 (123)	2.43 (49)	2.70 (313)	.029

2018 年度

	第一志望	第二志望	第三志望以下	全体平均	有意確率
大学生活全般	3.36 (198)	3.34 (107)	3.19 (48)	3.33 (353)	.156
キリスト教的価値観	3.17 (198)	3.03 (107)	2.94 (48)	3.10 (353)	.012
教育内容やカリキュラム	3.25 (197)	3.17 (107)	3.02 (48)	3.20 (352)	.028
施設・設備	2.90 (197)	2.75 (106)	2.58 (48)	2.81 (351)	.010
経済的支援	3.05 (196)	2.98 (106)	2.72 (46)	2.98 (348)	.004
進路支援体制	3.07 (198)	3.07 (107)	3.02 (48)	3.06 (353)	.911
本学教員	3.25 (197)	3.15 (107)	3.25 (48)	3.22 (352)	.342
本学職員	2.74 (198)	2.79 (107)	2.52 (48)	2.73 (353)	.133

註) 表中の数値は志望度別満足度の平均値を示す。8 項目の満足度の回答を「とても満足」に 4 点、「とても不満」に 1 点を与えて 1~4 点に得点化しており、数値が高いほど満足している回答が多いことを示す。なお、志望度で「その他」と回答した者（2017 年度 4 名、2018 年度 7 名）は分析から除外している。（ ）内の数値は度数。

全体としては、入学時の志望順位が高いほど満足度も高いという傾向はたしかにみられる。例えば「キリスト教的価値観」「教育内容やカリキュラム」については、本学の特色をよく理解したうえで第一志望とした学生と、本来は他の大学を志望しながら本学に入学した学生とでは、満足度に差が生じることもうなずける。また、「施設・設備」「本学職員」の項目でも、入学時の志望順位が低かった学生の満足度が低いという傾向がある。

一方で、「大学生活全般」や「本学教員」については志望順位に関わらず、多くの学生が高い満足度を示している。このことは、たとえ本学が第一志望の大学でなくても、本学における 4 年間の大学生活は満足感を伴って振り返られているということであり、自身が学んだ教員に対しても満足できているということを意味する。すなわち、意に沿わぬ入学をした学生に対しても、本学は満足できる大学生活や教育を提供できているといえるであろう。

12. 2 年間の経年比較

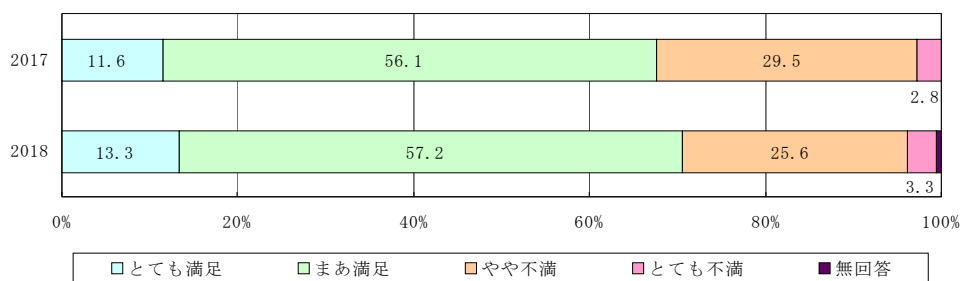
本調査は 2017 年度から実施をスタートし、現時点で 2017 年度・2018 年度の 2 回、同一の項目での調査をおこなっている。ここでは、この 2 カ年で変化がみられた項目について記述しておきたい。もちろん、2 年間の比較のみでは傾向をつかむことはできない。本学学生の満足度の推移を追い、変化の要因を検討するためには、今後も調査項目の具体化・細分化を含め、継続して調

査を実施し、データの蓄積をまたなければならない。

2017年度から2018年度にかけて満足度の上昇がみられたのは、「施設・設備」「経済的支援」「進路支援体制」「本学職員」である。これらは図2でみたように、「とても満足」「まあ満足」という回答の比率が相対的に低い項目であり、今後さらなる充実を図ったり、改善する余地が残された領域として位置づけることができる。逆に言うと、他の項目はこれ以上の上昇が望めないともいえるであろう。

「施設・設備」は、「とても満足」「まあ満足」を合わせた比率が、2017年度の66.7%から2018年は70.5%に上昇している。「とても満足」「まあ満足」がそれぞれ増え、「やや不満」が減るといった傾向がみられる。この要因としては、2018年度にトイレの改修が完了したことが挙げられるかもしれない（図3）。

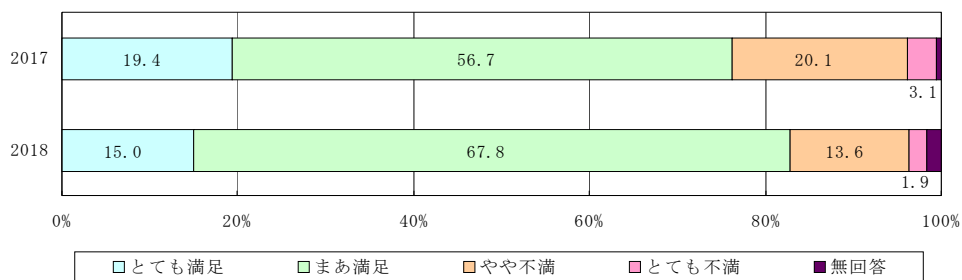
図3 施設・設備の満足度



「経済的支援」の満足度は、2年間で76.1%から82.8%へと上昇している。「まあ満足」という回答が10ポイント以上増え、「とても満足」や「やや不満」という回答が減るといった結果となった。2018年7月に発生した西日本豪雨災害に対する具体的な支援策を本学が表明したことが、この項目の満足度を高めていると考えられる（図4）。

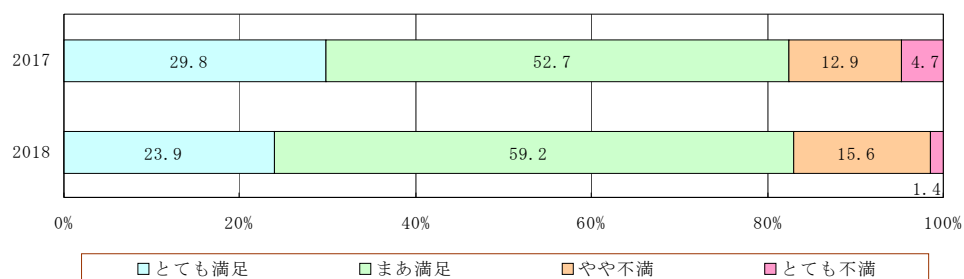
ただし、経済的支援の満足度は、実際に支援を受けた学生以外は感じにくいものである。アンケート用紙の余白にも「支援を受けていない」という記述がみられた。2020年度からは、本学の奨学金制度が大幅に充実すると同時に、授業料の値上げも始まる。2018年度に「とても満足」の回答が減少した要因とともに、今後、学生の満足度がどのように推移するかについて、データの検証が必要である。

図4 経済的支援の満足度



「進路支援体制」も、「とても満足」という回答が減少しているが、「とても不満」という回答も減少しており、全体として「満足」の回答が増えたという結果になっている（図5）。

図5 進路支援体制の満足度



この結果については、現時点では特定の要因を見出すことはできないが、表5に示した通り、2017年度に多かった日本語日本文学科および現代社会学科の「とても不満」という回答が、2018年にはゼロになっている点に大きな変化がみられる。一方で、「とても満足」という回答は、英語英文学科や人間生活学科で減少している。

表5 学科別にみた進路支援体制の満足度

2017年度

	とても満足	まあ満足	やや不満	とても不満	計
英語英文学科	13 (23.2)	34 (60.7)	8 (14.3)	1 (1.8)	56 (100.0)
日本語日本文学科	9 (14.5)	35 (56.5)	9 (14.5)	9 (14.5)	62 (100.0)
現代社会学科	6 (15.4)	22 (56.4)	8 (20.5)	3 (7.7)	39 (100.0)
人間生活学科	15 (29.4)	30 (58.8)	5 (9.8)	1 (2.0)	51 (100.0)
児童学科	50 (52.6)	37 (38.9)	7 (7.4)	1 (1.1)	95 (100.0)
食品栄養学科	2 (12.5)	10 (62.5)	4 (25.0)	0 (0.0)	16 (100.0)
計	95 (29.8)	168 (52.7)	41 (12.9)	15 (4.7)	319 (100.0)

p<0.01

2018年度

	とても満足	まあ満足	やや不満	とても不満	計
英語英文学科	4 (7.5)	40 (75.5)	8 (15.1)	1 (1.9)	53 (100.0)
日本語日本文学科	8 (16.3)	35 (71.4)	6 (12.2)	0 (0.0)	49 (100.0)
現代社会学科	8 (16.0)	32 (64.0)	10 (20.0)	0 (0.0)	50 (100.0)
人間生活学科	12 (20.7)	35 (60.3)	11 (19.0)	0 (0.0)	58 (100.0)
児童学科	50 (42.0)	55 (46.2)	12 (10.1)	2 (1.7)	119 (100.0)
食品栄養学科	4 (12.9)	16 (51.6)	9 (29.0)	2 (6.5)	31 (100.0)
計	86 (23.9)	213 (59.2)	56 (15.6)	5 (1.4)	360 (100.0)

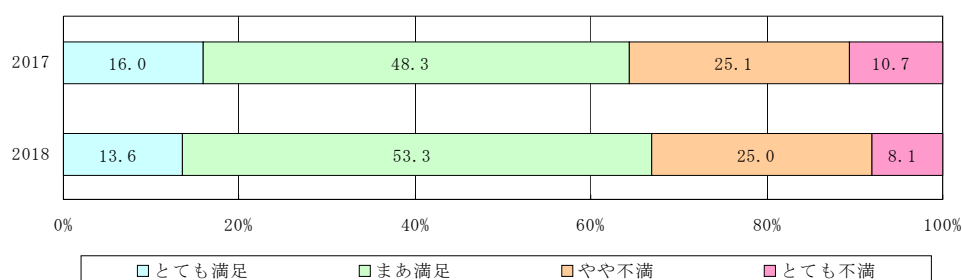
p<0.01

このように年度によって学科ごとに評価が大きく揺らぐ原因は何であるのか。2018年度のコメントには、「相談しにくい雰囲気でした」（英語英文学科）、「キャリアポは雰囲気的に入りづらい」（日本語日本文学科）という記述もあった。キャリアサポートセンター職員に対する学生の満足度は総じて高いが、人生の岐路に立ちセンシティブになっている学生が訪れる部署であるだけに、

入りやすさという物理的要因とともに、たった1回の対応時の印象で評価がプラスにもマイナスにも定まってしまうこともありうる。学科・アドバイザー・キャリアサポートセンターが連携して学生の情報を交換しあうこともケースによっては必要であり、そのようなケースに対処するための体制構築が望まれる。

「本学職員」は、全8項目の中で最も満足度が低い項目である。「とても満足」「まあ満足」を合わせた回答の比率は、2017年度の64.3%から2018年度の66.9%へとやや上昇しており、「とても不満」の比率も減っている(図6)。不満の要因は相談時の対応であると考えられる。とりわけ学生にとって諸相談の窓口となる学生係の対応に関する辛辣なコメントが、2018年度調査では多くみられた。

図6 本学職員の満足度



なお、2017年度は英語英文学科および日本語日本文学科で不満を示す回答が多かったが、2018年度は学科の差はなくなっている(表6)。職員に対する評価は、何か一つのきっかけによって大きく左右されるものであるのかもしれない。学生と定期的に顔を合わせ、関係が継続的であり、全人格的に接する教員とは異なり、職員と学生との関係は基本的に個別のニーズを介した一時的なものとなる。そのため、学生にとっては「期待していたような対応をしてもらえなかった」という思いがより強くなるのであろう。

2年間の比較では、職員の満足度に改善の傾向がみられた。この傾向がさらに続くよう、今後の経過を見守りたい。

表6 学科別にみた本学職員の満足度

2017年度	とても満足	まあ満足	やや不満	とても不満	計
英語英文学科	4 (7.1)	26 (46.4)	16 (28.6)	10 (17.9)	56 (100.0)
日本語日本文学科	3 (4.8)	19 (30.6)	28 (45.2)	12 (19.4)	62 (100.0)
現代社会学科	9 (23.1)	19 (48.7)	8 (20.5)	3 (7.7)	39 (100.0)
人間生活学科	10 (19.6)	27 (52.9)	10 (19.6)	4 (7.8)	51 (100.0)
児童学科	21 (22.1)	54 (56.8)	15 (15.8)	5 (5.3)	95 (100.0)
食品栄養学科	4 (25.0)	9 (56.3)	3 (18.8)	0 (0.0)	16 (100.0)
計	51 (16.0)	154 (48.3)	80 (25.1)	34 (10.7)	319 (100.0)

p<0.01

	とても満足	まあ満足	やや不満	とても不満	計
英語英文学科	6 (11.3)	26 (49.1)	12 (22.6)	9 (17.0)	53 (100.0)
日本語日文学科	7 (14.3)	22 (44.9)	16 (32.7)	4 (8.2)	49 (100.0)
現代社会学科	6 (12.0)	27 (54.0)	12 (24.0)	5 (10.0)	50 (100.0)
人間生活学科	7 (12.1)	30 (51.7)	18 (31.0)	3 (5.2)	58 (100.0)
児童学科	17 (14.3)	73 (61.3)	24 (20.2)	5 (4.2)	119 (100.0)
食品栄養学科	6 (19.4)	14 (45.2)	8 (25.8)	3 (9.7)	31 (100.0)
計	49 (13.6)	192 (53.3)	90 (25.0)	29 (8.1)	360 (100.0)

n. s.

1 3. まとめと提言

ここまで、2017 年度および 2018 年度の「卒業時アンケート」の結果から、卒業を間近に控えた学生たちの本学に対する満足度の傾向を考察してきた。以上の分析から指摘できることは、4 点にまとめることができるであろう。

(1) 本学学生の満足度は非常に高いといえる。本学の建学の精神であるキリスト教的価値観を学んだことを含む教育内容やカリキュラム、また教員に対して満足している学生は 9 割を超えている。この教育に対する満足感が、大学生生活全般の満足感へとつながっている。このことは、本学の強みが何より「教育」にあることを意味している。教育の充実を今後いっそう図ることが求められているといえよう。

(2) 教育関係の項目に比べて相対的に満足度が低い項目についても、学生の満足度は決して低いわけではない。最も低い「本学職員」に対しても 6 割以上の学生は「満足」と回答している。この事実到我々教職員一同は誇りを持ち、同時に、より学生たちをサポートできる体制づくりのために努力すべきである。

(3) ただし、今後よりいっそうの学修支援および生活支援の充実を推進するためには、より個別で具体的な実態を把握する必要がある。例えば「施設・設備」への満足・不満といっても、その内容は多岐にわたる。「進路支援体制」についても、学科の性格によって、進路希望が就職か進学かによって、また個々の学生にとって、そのニーズは大きく異なるであろう。本調査は満足感を尋ねるだけのものであり、大まかな傾向をつかむことはできたが、個別の支援策策定のデータとしては限界がある。例えば 2019 年度に実施した「学生食堂に関するアンケート調査」のように、実態とニーズの詳細な分析が可能となるようなデータを収集する必要がある。2 年度にわたり実施した本調査の 8 つの大項目を基本としながら、さらに具体化・細分化した質問項目を設定すること、また、エンロールメント・マネジメントの観点を導入することの 2 点を提言したい。これにより、より深いエビデンスが得られるとともに、学習状況等とも関連させながら、入学から卒業までの一貫した学生支援に取り組むことが可能となる。

(4) 先の表 2 に示した通り、8 項目の満足度は相互に強い相関をみせている。すなわち、ある項目の満足度が高まれば、別の項目の満足度も高まっていく可能性があるということである。教育の充実も環境整備も経済的支援もすべてを同時に着手することはできないが、一つずつ着実に支援体制を整えていくことで、学生たちの要望に充分に応えることができるはずである。本学の理念に基づいた「教育」を柱とし、これを揺るぎないものとしながら、これまで本学が継承して

きたものと社会や価値観の変化に即して革新していくものを見極めつつ、方向性を見誤ることなく進んでいくことが、何よりも求められているといえる。

基礎集計表

表Ⅰ 学科別回答者数

	英語英文 学科	日本語 日本文学科	現代社会 学科	人間生活 学科	児童学科	食品栄養 学科	計
2017年度	56 (17.6)	62 (19.4)	39 (12.2)	51 (16.0)	95 (29.8)	16 (5.0)	319 (100.0)
2018年度	53 (14.7)	49 (13.6)	50 (13.9)	58 (16.1)	119 (33.1)	31 (8.6)	360 (100.0)

表Ⅱ 本学入学時の志望度

	第一志望	第二志望	第三志望以下	その他	無回答	計
2017年度	141 (44.2)	123 (38.6)	49 (15.4)	4 (1.3)	2 (0.6)	319 (100.0)
2018年度	198 (55.0)	107 (29.7)	48 (13.3)	7 (1.9)	0 (0.0)	360 (100.0)

表Ⅲ 8項目の満足度

2017年度

	とても満足	まあ満足	やや不満	とても不満	無回答	計
大学生生活全般	134 (42.0)	177 (55.5)	8 (2.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	319 (100.0)
キリスト教的価値観	67 (21.0)	227 (71.2)	17 (5.3)	6 (1.9)	2 (0.6)	319 (100.0)
教育内容やカリキュラム	97 (30.4)	193 (60.5)	26 (8.2)	2 (0.6)	1 (0.3)	319 (100.0)
施設・設備	37 (11.6)	179 (56.1)	94 (29.5)	9 (2.8)	0 (0.0)	319 (100.0)
経済的支援	62 (19.4)	181 (56.7)	64 (20.1)	10 (3.1)	2 (0.6)	319 (100.0)
進路支援体制	95 (29.8)	168 (52.7)	41 (12.9)	15 (4.7)	0 (0.0)	319 (100.0)
本学教員	128 (40.1)	173 (54.2)	14 (4.4)	4 (1.3)	0 (0.0)	319 (100.0)
本学職員	51 (16.0)	154 (48.3)	80 (25.1)	34 (10.7)	0 (0.0)	319 (100.0)

2018年度

	とても満足	まあ満足	やや不満	とても不満	無回答	計
大学生生活全般	132 (36.7)	215 (59.7)	12 (3.3)	1 (0.3)	0 (0.0)	360 (100.0)
キリスト教的価値観	70 (19.4)	258 (71.7)	25 (6.9)	6 (1.7)	1 (0.3)	360 (100.0)
教育内容やカリキュラム	97 (26.9)	234 (65.0)	28 (7.8)	0 (0.0)	1 (0.3)	360 (100.0)
施設・設備	48 (13.3)	206 (57.2)	92 (25.6)	12 (3.3)	2 (0.6)	360 (100.0)
経済的支援	54 (15.0)	244 (67.8)	49 (13.6)	7 (1.9)	6 (1.7)	360 (100.0)
進路支援体制	86 (23.9)	213 (59.2)	56 (15.6)	5 (1.4)	0 (0.0)	360 (100.0)
本学教員	108 (30.0)	226 (62.8)	22 (6.1)	3 (0.8)	1 (0.3)	360 (100.0)
本学職員	49 (13.6)	192 (53.3)	90 (25.0)	29 (8.1)	0 (0.0)	360 (100.0)

表IV 学科別にみた8項目の満足度

2017年度

		とても満足	まあ満足	やや不満	とても不満	計
英語英文学科	大学生生活全般	22 (39.3)	32 (57.1)	2 (3.6)	0 (0.0)	56 (100.0)
	キリスト教的価値観	11 (19.6)	39 (69.6)	5 (8.9)	1 (1.8)	56 (100.0)
	教育内容やカリキュラム	11 (19.6)	35 (62.5)	10 (17.9)	0 (0.0)	56 (100.0)
	施設・設備	7 (12.5)	33 (58.9)	15 (26.8)	1 (1.8)	56 (100.0)
	経済的支援	7 (12.5)	34 (60.7)	12 (21.4)	3 (5.4)	56 (100.0)
	進路支援体制	13 (23.2)	34 (60.7)	8 (14.3)	1 (1.8)	56 (100.0)
	本学教員	18 (32.1)	32 (57.1)	4 (7.1)	2 (3.6)	56 (100.0)
	本学職員	4 (7.1)	26 (46.4)	16 (28.6)	10 (17.9)	56 (100.0)
日本語日本文学科	大学生生活全般	16 (25.8)	42 (67.7)	4 (6.5)	0 (0.0)	62 (100.0)
	キリスト教的価値観	12 (19.7)	41 (67.2)	4 (6.6)	4 (6.6)	61 (100.0)
	教育内容やカリキュラム	11 (17.7)	41 (66.1)	8 (12.9)	2 (3.2)	62 (100.0)
	施設・設備	2 (3.2)	29 (46.8)	25 (40.3)	6 (9.7)	62 (100.0)
	経済的支援	8 (13.1)	34 (55.7)	14 (23.0)	5 (8.2)	61 (100.0)
	進路支援体制	9 (14.5)	35 (56.5)	9 (14.5)	9 (14.5)	62 (100.0)
	本学教員	22 (35.5)	34 (54.8)	5 (8.1)	1 (1.6)	62 (100.0)
	本学職員	3 (4.8)	19 (30.6)	28 (45.2)	12 (19.4)	62 (100.0)
現代社会学科	大学生生活全般	16 (41.0)	22 (56.4)	1 (2.6)	0 (0.0)	39 (100.0)
	キリスト教的価値観	10 (25.6)	26 (66.7)	2 (5.1)	1 (2.6)	39 (100.0)
	教育内容やカリキュラム	14 (35.9)	23 (59.0)	2 (5.1)	0 (0.0)	39 (100.0)
	施設・設備	6 (15.4)	25 (64.1)	8 (20.5)	0 (0.0)	39 (100.0)
	経済的支援	11 (28.2)	19 (48.7)	8 (20.5)	1 (2.6)	39 (100.0)
	進路支援体制	6 (15.4)	22 (56.4)	8 (20.5)	3 (7.7)	39 (100.0)
	本学教員	15 (38.5)	23 (59.0)	1 (2.6)	0 (0.0)	39 (100.0)
	本学職員	9 (23.1)	19 (48.7)	8 (20.5)	3 (7.7)	39 (100.0)
人間生活学科	大学生生活全般	19 (37.3)	31 (60.8)	1 (2.0)	0 (0.0)	51 (100.0)
	キリスト教的価値観	14 (27.5)	36 (70.6)	1 (2.0)	0 (0.0)	51 (100.0)
	教育内容やカリキュラム	14 (27.5)	36 (70.6)	1 (2.0)	0 (0.0)	51 (100.0)
	施設・設備	7 (13.7)	25 (49.0)	17 (33.3)	2 (3.9)	51 (100.0)
	経済的支援	12 (23.5)	28 (54.9)	11 (21.6)	0 (0.0)	51 (100.0)
	進路支援体制	15 (29.4)	30 (58.8)	5 (9.8)	1 (2.0)	51 (100.0)
	本学教員	15 (29.4)	33 (64.7)	3 (5.9)	0 (0.0)	51 (100.0)
	本学職員	10 (19.6)	27 (52.9)	10 (19.6)	4 (7.8)	51 (100.0)
児童学科	大学生生活全般	57 (60.0)	38 (40.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	95 (100.0)
	キリスト教的価値観	16 (17.0)	74 (78.7)	4 (4.3)	0 (0.0)	94 (100.0)
	教育内容やカリキュラム	44 (46.8)	45 (47.9)	5 (5.3)	0 (0.0)	94 (100.0)
	施設・設備	13 (13.7)	61 (64.2)	21 (22.1)	0 (0.0)	95 (100.0)
	経済的支援	21 (22.3)	56 (59.6)	16 (17.0)	1 (1.1)	94 (100.0)
	進路支援体制	50 (52.6)	37 (38.9)	7 (7.4)	1 (1.1)	95 (100.0)
	本学教員	53 (55.8)	40 (42.1)	1 (1.1)	1 (1.1)	95 (100.0)
	本学職員	21 (22.1)	54 (56.8)	15 (15.8)	5 (5.3)	95 (100.0)
食品栄養学科	大学生生活全般	134 (42.0)	177 (55.5)	8 (2.5)	0 (0.0)	319 (100.0)
	キリスト教的価値観	4 (25.0)	11 (68.8)	1 (6.3)	0 (0.0)	16 (100.0)
	教育内容やカリキュラム	3 (18.8)	13 (81.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	16 (100.0)
	施設・設備	2 (12.5)	6 (37.5)	8 (50.0)	0 (0.0)	16 (100.0)
	経済的支援	3 (18.8)	10 (62.5)	3 (18.8)	0 (0.0)	16 (100.0)
	進路支援体制	2 (12.5)	10 (62.5)	4 (25.0)	0 (0.0)	16 (100.0)
	本学教員	5 (31.3)	11 (68.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	16 (100.0)
	本学職員	4 (25.0)	9 (56.3)	3 (18.8)	0 (0.0)	16 (100.0)

2018年度

		とても満足	まあ満足	やや不満	とても不満	計
英語英文学科	大学生生活全般	16 (30.2)	36 (67.9)	1 (1.9)	0 (0.0)	53 (100.0)
	キリスト教的価値観	10 (18.9)	36 (67.9)	5 (9.4)	2 (3.8)	53 (100.0)
	教育内容やカリキュラム	10 (18.9)	37 (69.8)	6 (11.3)	0 (0.0)	53 (100.0)
	施設・設備	6 (11.5)	23 (44.2)	22 (42.3)	1 (1.9)	52 (100.0)
	経済的支援	6 (11.5)	31 (59.6)	13 (25.0)	2 (3.8)	52 (100.0)
	進路支援体制	4 (7.5)	40 (75.5)	8 (15.1)	1 (1.9)	53 (100.0)
	本学教員	9 (17.3)	41 (78.8)	2 (3.8)	0 (0.0)	52 (100.0)
	本学職員	6 (11.3)	26 (49.1)	12 (22.6)	9 (17.0)	53 (100.0)
日本語日本文学科	大学生生活全般	15 (30.6)	31 (63.3)	2 (4.1)	1 (2.0)	49 (100.0)
	キリスト教的価値観	12 (24.5)	34 (69.4)	2 (4.1)	1 (2.0)	49 (100.0)
	教育内容やカリキュラム	11 (22.4)	31 (63.3)	7 (14.3)	0 (0.0)	49 (100.0)
	施設・設備	5 (10.2)	31 (63.3)	9 (18.4)	4 (8.2)	49 (100.0)
	経済的支援	3 (6.3)	40 (83.3)	4 (8.3)	1 (2.1)	48 (100.0)
	進路支援体制	8 (16.3)	35 (71.4)	6 (12.2)	0 (0.0)	49 (100.0)
	本学教員	11 (22.4)	30 (61.2)	6 (12.2)	2 (4.1)	49 (100.0)
	本学職員	7 (14.3)	22 (44.9)	16 (32.7)	4 (8.2)	49 (100.0)
現代社会学科	大学生生活全般	18 (36.0)	30 (60.0)	2 (4.0)	0 (0.0)	50 (100.0)
	キリスト教的価値観	7 (14.3)	37 (75.5)	4 (8.2)	1 (2.0)	49 (100.0)
	教育内容やカリキュラム	10 (20.0)	37 (74.0)	3 (6.0)	0 (0.0)	50 (100.0)
	施設・設備	5 (10.0)	26 (52.0)	17 (34.0)	2 (4.0)	50 (100.0)
	経済的支援	9 (18.8)	30 (62.5)	7 (14.6)	2 (4.2)	48 (100.0)
	進路支援体制	8 (16.0)	32 (64.0)	10 (20.0)	0 (0.0)	50 (100.0)
	本学教員	16 (32.0)	30 (60.0)	4 (8.0)	0 (0.0)	50 (100.0)
	本学職員	6 (12.0)	27 (54.0)	12 (24.0)	5 (10.0)	50 (100.0)
人間生活学科	大学生生活全般	26 (44.8)	30 (51.7)	2 (3.4)	0 (0.0)	58 (100.0)
	キリスト教的価値観	14 (24.1)	40 (69.0)	4 (6.9)	0 (0.0)	58 (100.0)
	教育内容やカリキュラム	20 (34.5)	33 (56.9)	5 (8.6)	0 (0.0)	58 (100.0)
	施設・設備	13 (22.4)	34 (58.6)	10 (17.2)	1 (1.7)	58 (100.0)
	経済的支援	10 (17.2)	42 (72.4)	6 (10.3)	0 (0.0)	58 (100.0)
	進路支援体制	12 (20.7)	35 (60.3)	11 (19.0)	0 (0.0)	58 (100.0)
	本学教員	13 (22.4)	41 (70.7)	4 (6.9)	0 (0.0)	58 (100.0)
	本学職員	7 (12.1)	30 (51.7)	18 (31.0)	3 (5.2)	58 (100.0)
児童学科	大学生生活全般	54 (45.4)	62 (52.1)	3 (2.5)	0 (0.0)	119 (100.0)
	キリスト教的価値観	22 (18.5)	89 (74.8)	8 (6.7)	0 (0.0)	119 (100.0)
	教育内容やカリキュラム	43 (36.4)	72 (61.0)	3 (2.5)	0 (0.0)	118 (100.0)
	施設・設備	17 (14.3)	75 (63.0)	25 (21.0)	2 (1.7)	119 (100.0)
	経済的支援	20 (17.1)	81 (69.2)	15 (12.8)	1 (0.9)	117 (100.0)
	進路支援体制	50 (42.0)	55 (46.2)	12 (10.1)	2 (1.7)	119 (100.0)
	本学教員	51 (42.9)	64 (53.8)	3 (2.5)	1 (0.8)	119 (100.0)
	本学職員	17 (14.3)	73 (61.3)	24 (20.2)	5 (4.2)	119 (100.0)
食品栄養学科	大学生生活全般	3 (9.7)	26 (83.9)	2 (6.5)	0 (0.0)	31 (100.0)
	キリスト教的価値観	5 (16.1)	22 (71.0)	2 (6.5)	2 (6.5)	31 (100.0)
	教育内容やカリキュラム	3 (9.7)	24 (77.4)	4 (12.9)	0 (0.0)	31 (100.0)
	施設・設備	2 (6.7)	17 (56.7)	9 (30.0)	2 (6.7)	30 (100.0)
	経済的支援	6 (19.4)	20 (64.5)	4 (12.9)	1 (3.2)	31 (100.0)
	進路支援体制	4 (12.9)	16 (51.6)	9 (29.0)	2 (6.5)	31 (100.0)
	本学教員	8 (25.8)	20 (64.5)	3 (9.7)	0 (0.0)	31 (100.0)
	本学職員	6 (19.4)	14 (45.2)	8 (25.8)	3 (9.7)	31 (100.0)

表V 志望度別にみた8項目の満足度

2017年度

		とても満足	まあ満足	やや不満	とても不満	計
第一志望	大学生活全般	61 (43.3)	75 (53.2)	5 (3.5)	0 (0.0)	141 (100.0)
	キリスト教的価値観	39 (27.7)	96 (68.1)	5 (3.5)	1 (0.7)	141 (100.0)
	教育内容やカリキュラム	50 (35.7)	81 (57.9)	8 (5.7)	1 (0.7)	140 (100.0)
	施設・設備	22 (15.6)	76 (53.9)	42 (29.8)	1 (0.7)	141 (100.0)
	経済的支援	35 (24.8)	76 (53.9)	26 (18.4)	4 (2.8)	141 (100.0)
	進路支援体制	44 (31.2)	76 (53.9)	15 (10.6)	6 (4.3)	141 (100.0)
	本学教員	56 (39.7)	80 (56.7)	4 (2.8)	1 (0.7)	141 (100.0)
	本学職員	32 (22.7)	63 (44.7)	33 (23.4)	13 (9.2)	141 (100.0)
第二志望	大学生活全般	51 (41.5)	71 (57.7)	1 (0.8)	0 (0.0)	123 (100.0)
	キリスト教的価値観	23 (18.7)	93 (75.6)	5 (4.1)	2 (1.6)	123 (100.0)
	教育内容やカリキュラム	36 (29.3)	78 (63.4)	8 (6.5)	1 (0.8)	123 (100.0)
	施設・設備	10 (8.1)	78 (63.4)	31 (25.2)	4 (3.3)	123 (100.0)
	経済的支援	21 (17.2)	73 (59.8)	25 (20.5)	3 (2.5)	122 (100.0)
	進路支援体制	39 (31.7)	68 (55.3)	14 (11.4)	2 (1.6)	123 (100.0)
	本学教員	53 (43.1)	62 (50.4)	5 (4.1)	3 (2.4)	123 (100.0)
	本学職員	14 (11.4)	69 (56.1)	27 (22.0)	13 (10.6)	123 (100.0)
第三志望以下	大学生活全般	21 (42.9)	26 (53.1)	2 (4.1)	0 (0.0)	49 (100.0)
	キリスト教的価値観	5 (10.6)	33 (70.2)	7 (14.9)	2 (4.3)	47 (100.0)
	教育内容やカリキュラム	10 (20.4)	29 (59.2)	10 (20.4)	0 (0.0)	49 (100.0)
	施設・設備	5 (10.2)	21 (42.9)	19 (38.8)	4 (8.2)	49 (100.0)
	経済的支援	6 (12.5)	27 (56.3)	13 (27.1)	2 (4.2)	48 (100.0)
	進路支援体制	12 (24.5)	21 (42.9)	9 (18.4)	7 (14.3)	49 (100.0)
	本学教員	18 (36.7)	27 (55.1)	4 (8.2)	0 (0.0)	49 (100.0)
	本学職員	5 (10.2)	19 (38.8)	17 (34.7)	8 (16.3)	49 (100.0)

2018年度

		とても満足	まあ満足	やや不満	とても不満	計
第一志望	大学生活全般	78 (39.4)	113 (57.1)	7 (3.5)	0 (0.0)	198 (100.0)
	キリスト教的価値観	47 (23.7)	140 (70.7)	9 (4.5)	2 (1.0)	198 (100.0)
	教育内容やカリキュラム	63 (32.0)	121 (61.4)	13 (6.6)	0 (0.0)	197 (100.0)
	施設・設備	30 (15.2)	121 (61.4)	43 (21.8)	3 (1.5)	197 (100.0)
	経済的支援	38 (19.4)	131 (66.8)	25 (12.8)	2 (1.0)	196 (100.0)
	進路支援体制	50 (25.3)	113 (57.1)	33 (16.7)	2 (1.0)	198 (100.0)
	本学教員	62 (31.5)	123 (62.4)	11 (5.6)	1 (0.5)	197 (100.0)
	本学職員	29 (14.6)	104 (52.5)	49 (24.7)	16 (8.1)	198 (100.0)
第二志望	大学生活全般	38 (35.5)	67 (62.6)	2 (1.9)	0 (0.0)	107 (100.0)
	キリスト教的価値観	15 (14.0)	82 (76.6)	8 (7.5)	2 (1.9)	107 (100.0)
	教育内容やカリキュラム	22 (20.6)	81 (75.7)	4 (3.7)	0 (0.0)	107 (100.0)
	施設・設備	14 (13.2)	55 (51.9)	34 (32.1)	3 (2.8)	106 (100.0)
	経済的支援	11 (10.4)	82 (77.4)	13 (12.3)	0 (0.0)	106 (100.0)
	進路支援体制	24 (22.4)	68 (63.6)	13 (12.1)	2 (1.9)	107 (100.0)
	本学教員	25 (23.4)	74 (69.2)	7 (6.5)	1 (0.9)	107 (100.0)
	本学職員	13 (12.1)	62 (57.9)	29 (27.1)	3 (2.8)	107 (100.0)
第三志望以下	大学生活全般	14 (29.2)	30 (62.5)	3 (6.3)	1 (2.1)	48 (100.0)
	キリスト教的価値観	7 (14.6)	33 (68.8)	6 (12.5)	2 (4.2)	48 (100.0)
	教育内容やカリキュラム	11 (22.9)	27 (56.3)	10 (20.8)	0 (0.0)	48 (100.0)
	施設・設備	4 (8.3)	25 (52.1)	14 (29.2)	5 (10.4)	48 (100.0)
	経済的支援	5 (10.9)	27 (58.7)	10 (21.7)	4 (8.7)	46 (100.0)
	進路支援体制	10 (20.8)	30 (62.5)	7 (14.6)	1 (2.1)	48 (100.0)
	本学教員	17 (35.4)	27 (56.3)	3 (6.3)	1 (2.1)	48 (100.0)
	本学職員	6 (12.5)	22 (45.8)	11 (22.9)	9 (18.8)	48 (100.0)

註) ここでは、本学志望順位の「その他」の回答は除いている。